

2015年5月29日

5月29日、口永良部島新岳の噴火について

ウェザーニューズ、火山灰の拡散予測と気象見解を発表

～火山灰は日本の南海上を東へ拡散、口永良部島は30日の雨による土石流に注意～

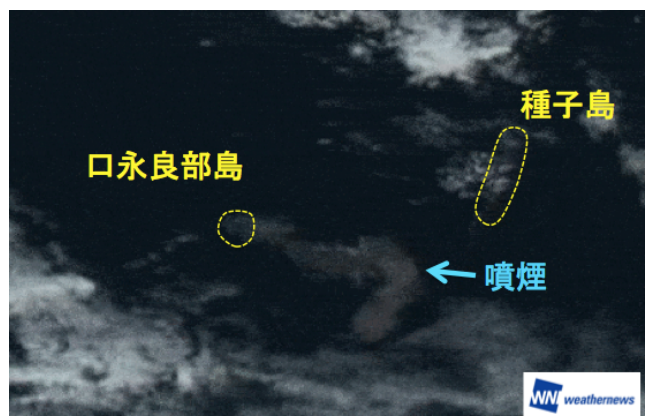
5月29日9時59分、鹿児島県口永良部島の新岳で爆発的噴火が発生し、噴煙が火口上9,000m以上まで上がり、火口周辺に噴石が飛来しました。これにより噴火警戒レベルは3(入山規制)から5(避難)まで引き上げられました。また、この噴火に伴い火砕流が発生し、新岳の南西側から北西側(向江浜地区)にかけての海岸まで到達したことが確認されています。13時現在、火山灰は上空の西寄りの風に流され、種子島の南南東約100km付近上空を拡散しています。株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉県美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は今後の火山灰の拡散予測と気象見解を発表しました。今後、火山灰は西寄りの風に流されて、日本の南海上を東に拡散していく予想です。口永良部島周辺の天気は、30日夜から31日に日中にかけて、前線や低気圧の影響で強い雨の可能性があります。総雨量は最大で100mm程度の見込みで、口永良部島の降灰のあった地域では土石流の危険性があるため、二次災害に注意が必要です。ウェザーニューズは、スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」で最新情報を発表するとともに、インターネットサイトで噴火当時のひまわり8号の動画を公開しています。火山灰が本州に到達することはない見込みですが、ウェザーニューズは周辺を航行する航空機や船舶への注意喚起を行っています。

最新情報はここから	ひまわり8号の動画はここから
スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」をダウンロード後、「おしらせ」にアクセス http://bit.ly/1FdCwsr	http://weathernews.com/ja/nc/press/2015/150529_2.html

◆ 雨による土石流など二次災害に注意、今後の火山灰の拡散予測を発表

ウェザーニューズは火山灰の拡散予測を発表しました。現在、火山灰は下層1500mでは東寄り、上空1500m以上では西寄りの風に乗って、東西に拡散しています。30日にかけて日本の南海上を東へ拡散する予想です。この火山灰は本州には到達しない見込みですが、ウェザーニューズでは、周辺を航行する航空機や船舶への注意喚起を行っています。

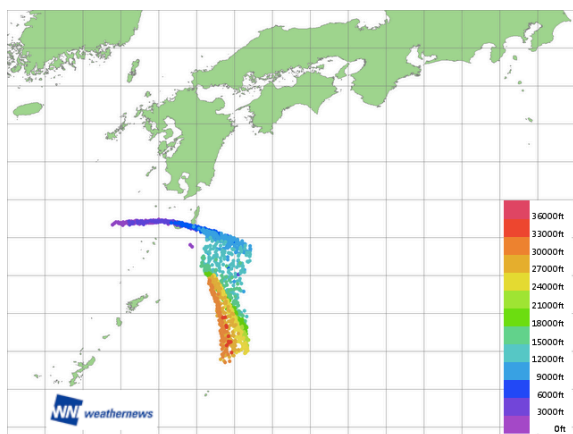
口永良部島周辺の天気は、30日夜から31日に日中にかけて前線や低気圧の影響で強い雨の可能性があります。総雨量は最大で100mm程度の見込み



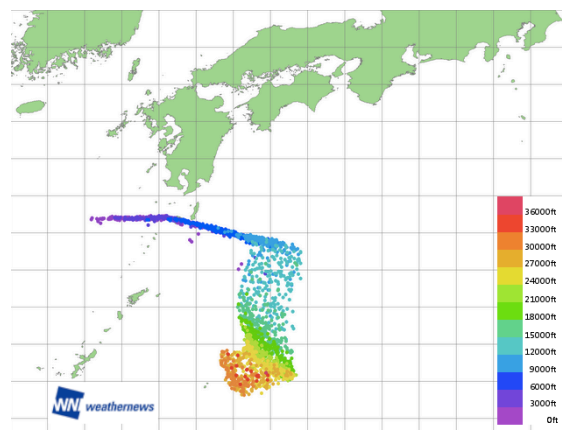
※ ひまわり8号の衛星画像

動画はインターネットサイトからご覧いただけます。

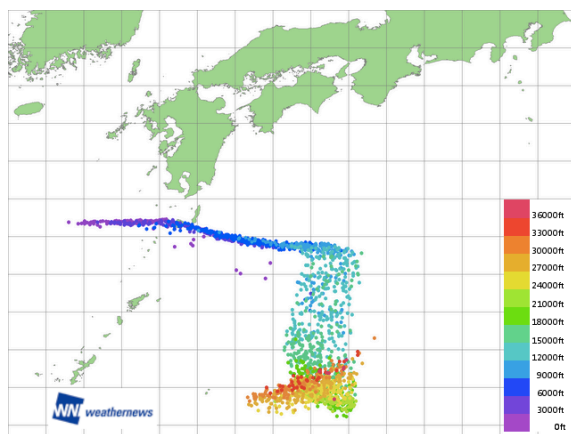
で、口永良部島では土石流の危険性があるため、二次災害に注意が必要です。



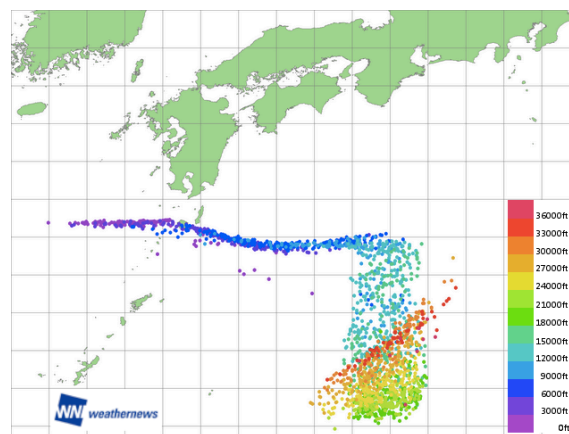
※5月29日16時



※5月29日19時



※5月29日22時



※5月30日1時

ウェザーニューズは、スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」で最新情報を発表するとともに、インターネットサイトで噴火当時のひまわり8号の動画を公開しています。なお、ひまわり8号は試験運用中です。http://weathernews.com/ja/nc/press/2015/150529_2.html